Kobe University Repository : Kernel

PDF issue: 2024-06-21

これまで研究データについて右往左往してきた経過とこれからの課題

村上，健治

(Citation)
令和3年度国立大学図書館協会近畿地区協会助成事業「研究データポリシーの策定に向けて」

(Issue Date)
2021-11-29

(Resource Type)
conference object

(Version)
Version of Record

(URL)
https://hdl.handle.net/20.500.14094/90008823

これまで研究データについて右往左往してきた経過

と

これからの課題

2021.11.29

神戸大学附属図書館
村上健治

これまで（その１）

オープンサイエンスに関する国内の主な政策動向

- 2013年6月　G8科学大臣会合における研究データのオープン化を確約する共同声明
- 2015年3月　内閣府 「国際的動向を踏まえたオープンサイエンスに関する検討会」報告書
- 2016年1月　第5期科学技術基本計画 ⇒知の基盤の強化向けてオープンサイエンスを推進
- 2016年2月　科学技術・学術審議会 学術分科会 学術情報委員会 「学術情報のオープン化の推進について（審議まとめ）」
- 2017年6月　科学技術イノベーション総合戦略2017 「オープンサイエンスの推進」
- 2018年6月　内閣府 「統合イノベーション戦略」
- 2018年6月　内閣府 「国立研究開発法人におけるデータポリシー策定のためのガイドライン」
- 2021年3月　内閣府 「第6期科学技術・イノベーション基本計画」
- 2021年4月　統合イノベーション戦略推進会議 「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」

https://rcos.nii.ac.jp/document/policy/　より作成

これまで（その２）

令和3年6月2日付け事務連絡「「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」について（通知）」

・研究データ基盤システム（NII Research Data Cloud）を中核的なプラットフォームとして位置付け、産学官における幅広い利活用を図るため、メタデータ（データを説明するための情報から公正されるデータ）を検索可能な体制を構築する。（2023年度まで）

・公募型の研究資金の全ての新規公募分について、メタデータを付与する仕組みを導入（2023年度まで）

・研究開発を行う機関は、データポリシーを策定し、機関リポジトリへの研究データの収載を進める。（***機関リポジトリを有する全ての大学***・大学・大学共同利用機関法人・国立研究開発法人において***は、2025年までにデータポリシーを策定***）

これまで（その３）

RDM（Research Data Management 研究データ管理）
DMP（Data Management Plan データ管理計画）

RDMトレーニングツール https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/34
・対象：大学や研究機関等の研究支援職の方（2017.06.06）

教材「研究者のための研究データマネジメント」 https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/294
・対象：大学や研究機関等に所属する研究者の方（2020.10.29）

教材「研究データ管理サービスの設計と実践」第２版 https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/607
・対象：大学図書館員、URA、技術スタッフ等の研究支援職員（2021.02.10 ［第１版は 2018.08.31]）

これまで（その４）

大学ICT推進協議会（AXIES）

2019.05.01　学術機関における研究データ管理に関する提言
https://axies.jp/report/publications/proposal/

2021.07.01　大学における研究データポリシー策定のためのガイドライン
大学における研究データ管理体制構築への道のり
https://rdm.axies.jp/sig/70/

これまで（その５）

2020.03.19　京都大学研究データ管理・公開ポリシー
2020.10.20　名古屋大学学術データポリシー
2021.04.16　国立大学法人東京工業大学の研究データポリシー

これまで（その６）

- 2019.09.30　オープンサイエンス研修会「オープンサイエンスと学術機関リポジトリ」

  講師　国立情報学研究所　林先生・小野課長・平原先生（会場：神戸大学）

「図書館員のためのオープンサイエンス概論：オープンサイエンスと学術機関リポジトリ」
http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/90006367
「オープンサイエンスと学術機関リポジトリ」
http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/90006368

- 2020.06　　GakuNin RDM実証実験に参加

これまで（その７）

・国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター
https://rcos.nii.ac.jp/
・JPCOAR
https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/
・JPCOARの研修資料アーカイブ「RDMトレーニングツール」
https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/training
・AXIES　大学ICT推進協議会　研究データマネジメント部会
https://rdm.axies.jp/
・AXIES-JPCOAR研究データポリシー策定WS
https://rdm.axies.jp/event/85/
・NISTEP講演会
・J-STAGEのセミナー
https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja
・NII学術情報基盤オープンフォーラム2021（ほか）
https://www.nii.ac.jp/openforum/2021/
・SPARC Japan のセミナー
https://www.nii.ac.jp/sparc/
・京都大学葛桜プロジェクト
https://www.kudzu.cpier.kyoto-u.ac.jp/

・・・その他・・・

・「研究データ」の多様性（ファイル形式・ファイルサイズ）
※研究データは「デジタル」だけではない

・研究分野によってデータ公開に対する考え方は大きく異なる

・「オープンデータ」は「何でもオープン」ではなく「オープン＆クローズ戦略」が重要
※オープンとクローズとの間に「共有」

神戸大学のいま

・担当理事にWGの設置を相談しているところ

これから（その１）

「研究データ」に関係する規程等

・神戸大学知的財産取扱規程（H16.4.1制定）
・神戸大学情報セキュリティポリシー（H16.4.1制定）
・神戸大学個人情報管理規則（H17.3.17制定）
・神戸大学の学術研究に係る行動規範（H18.10.26制定）
・神戸大学における学術研究に係る不正行為の防止等に関する規則（H18.10.26制定）
・神戸大学安全保障輸出管理規則（H23.1.26制定）
・神戸大学法人文書管理規則（H23.3.31制定）
・神戸大学における研究データ等の保存期間等に関するガイドライン（H27.10.6施行）
・神戸大学共同研究取扱規程（H28.3.22制定）
　　ほかに　受託研究・産学連携・受託事業・共同事業など

これから（その２）

・研究データポリシーの策定を進めていくために

・図書館は何をすればよいのか、どのような業務を担うことになるのか？
・図書館員として研究データに関わっていくために必要な知識と技術は何か？

→　研究データ管理支援人材に求められる標準スキル（ver.0.1）（2021.09.21）（国立情報学研究所）
https://doi.org/10.20736/0002000219

・研究データポリシーに何をどのように書けばよいのか？
・研究データポリシーのガイドラインに何をどのように書けばよいのか？

→　大学ICT推進協議会（AXIES）
学術機関における研究データ管理に関する提言（2019.05.01）
https://axies.jp/report/publications/proposal/
大学における研究データポリシー策定のためのガイドライン（2021.07.01）
大学における研究データ管理体制構築への道のり（2021.07.01）
https://rdm.axies.jp/sig/70/

これから（その３）

・機関リポジトリへの研究データの収載を進めていくために

・研究者にとって研究データを公開する動機付けになるものは何か？
・サーバの容量はどれぐらい必要か？
・収載のための手続き等を含めると、どれぐらいの業務量になるのか？
・研究データの公開可否を適切に判断するためには、業務の流れをどのようにすればよいか？
・メタデータ作成のノウハウは？